

一般的なトラフ橋は等辺山形鋼を親桁とし、親桁と直角に平鋼を一定間隔で溶接した構造で定尺は2m、2.5m、3mで、溶融亜鉛メッキ処理をしています。当社では、トラフ橋の鋼材として新素材ZAM（※）を採用することにより、従来のものと比べ耐久性、作業性を改善し、コストパフォーマンスの大幅な向上を図りました。

製品は、J70から400に対応したトラフ橋の親桁が同一サイズで、子桁の長さを変えるだけで構成できます。



トラフ橋設置例1



トラフ橋設置例2

●特長

- ① 溶融亜鉛メッキをしている従来のトラフ橋と比べ5～10倍の耐久性を有している
- ② 同一の厚さのZAMで大型トラフにも対応できるので、大幅な軽量化を実現
- ③ ボルト・ナットを一切使用せずに、かつ現地で簡単に組み立て可能な嵌合式
- ④ 軽量化により施工性が向上し、保管スペースも削減

●使用分野

- ・鉄道沿線において橋上式で敷設する電力、信号、通信用・情報通信工事他

●工業所有権

- ・特許 第 4559902号

※ ZAMは、日新製鋼株式会社の登録商標

※ ZAMは、本鋼板のメッキ層の組成がZn-AI（6%）-Mg（3%）

から成る非常に微細な結晶組織

商品名「ZAM」はZn-AI-Mgの各元素の頭文字から命名

●共同開発会社

製造元：ユタカ電業株式会社様（山口県下関市）

会社URL：<https://yutaka-d.co.jp/contact/>

▽製品照会の問い合わせ先

お手数ですが、URL問い合わせフォームから
お願いいたします。